

# 山本先生からのアドバイス 1月編



## 洗口剤

歯周病予防のために洗口剤を使う場合には、歯磨きとの併用が効果的です。

一般的に洗口剤の中には、大きく分けてグルクロン酸クロルヘキシジン（CHG）と、セチルピリジニウム塩化物水和物（CPC）と呼ばれる2種類の殺菌剤が含まれています。

これらは歯の表面やバイオフィーム（歯垢）の表面に付着して効果が発揮される性質があります。

また歯の表面に吸着することでバイオフィームの再形成を抑制する効果もあります。

しかしバイオフィームの中まで浸透する力はないので、歯磨き後すぐに使用するとより効果があります。

日本国内のものは薬事法の関係で、シンガポールと比べ薬剤の濃度が低いので、効果はあまり高くありません。

日本では大体0.05%未満、シンガポールでは0.2%の濃度となっています。

一方、バイオフィームの中まで浸透して殺菌作用のある洗口剤もあり、緑やオレンジ、紫など色のついた洗口剤も効果があると言われています。

様々な洗口剤が市場に出回っていますが、結局のところは洗口剤のみに頼っていても、磨き残しや歯石は落ちないものですので、定期的に歯科医院へ通ってきれいに汚れを落とすことが重要です。

**HEALTHWAY JAPANESE DENTAL CENTRE**

歯科医師 山本能康 TEL 6733 9785

メールアドレス：[hjmc@healthwaymedical.com](mailto:hjmc@healthwaymedical.com)

176 Orchard Road #06-05 The Centrepoint